

IT・デジタル領域においてビジネスの専門性だけでなく 技術的な専門性を高めることで キャリアの可能性を広げ続けます



働く場所にとらわれずに、
大規模プロジェクトに関
われる場所

デロイト キューキャンパス
(DCC)
シニアソリューションスペ
シャリスト

ERP／DCC／Sler出身



学び続けることを忘れず
に、SAPのスペシャリスト
になりたい

SAP事業部
デロイト コラボレーションハ
ブ (DCH)
デリバリーアナリスト

ERP／DCH／新卒入社



お客様に驚かれるような
ソリューションを提供でき
る存在に

SAP事業部
デロイト コラボレーションハ
ブ (DCH)
デリバリーアナリスト

ERP／DCH／新卒入社



さまざまな経験を重ねて、
専門的なキャリアを形成
できる場所

SAP事業部
デロイト コラボレーションハ
ブ (DCH)
デリバリーアナリスト

ERP／DCH／新卒入社



大きく成長していくDTakt
のフィールドで自分の力を
試したい

SAP事業部
デロイト コラボレーションハ
ブ (DCH)
デリバリーアナリスト

ERP／DCH／新卒入社

働く場所にとらわれずに、 大規模プロジェクトに関われる場所

デロイト トーマツ アクト株式会社
デロイト キューキャンパス（DCC）シニアソリューションスペシャリスト
K.I.（2021年10月 入社）
ERP／DCC／Sier出身

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。



Q.デロイト トーマツ アクト（DTakt）での仕事内容について教えてください。

A. 2021年6月に福岡に設立されたデロイト キューキャンパス（DCC）に所属し、現在はAWSを使用した保守運用業務を担当しています。とはいえ、DCCのメンバーだけで仕事をするわけではありません。東京のDTaktやデロイト トーマツ コンサルティング（DTC）のメンバーとチームを組んで仕事することがほとんどで、オンラインでコミュニケーションをとりながら進めていきます。私はまだ入社したばかりということもあってAWSの保守運用が主ですが、今後はさまざまな開発に携わるようになりますし、海外メンバーとのやり取りもでてくるかもしれません。

Q.DTaktを選んだ理由を教えてください。

A. コンピューター系の4年制専門学校を卒業後、事業会社で官公庁や工場向けの業務系システムの開発、運用に携わりました。その後、フリーランスでの活動を経て、DTaktに入社しました。フリーランスとして働いていたこともあり、転職先の第一条件としていたのが「フルリモートで働ける会社」でした。なかでもDTaktは世界的に有名なデロイト トーマツ グループの一員であり、大規模な開発に携われることや、スキルアップが期待できるところに強く惹かれました。また、面接でもさまざまな仕事にチャレンジできる環境があると聞き、そうした点も自分に合っていると感じたことが入社を決め手でした。勤務形態もフルリモート、フレックスタイム制に加えて、福岡に拠点があることなど、働く場所や時間の自由度が高い会社であることもDTaktを選んだ大きな理由です。

Q.DTaktで働くことの魅力はどんなところですか？

A.デロイト トーマツ グループがグローバルな会社であることから、入社前は“完全実力主義”というイメージが強く、質問しても教えてもらえないような雰囲気想像していました。ところが、実際にはまったく逆で、誰もが親身になって相談にのってくれるので、いい意味で予想と大きく違っていました。フルリモートという環境ですが、定期的にオンラインミーティングを設けるなどコミュニケーションの点でもまったく不安はなく、距離を気にすることなく仕事に集中できています。

デロイト トーマツ グループのメンバーは高い専門性や幅広い知見を持った人ばかりで、知識の面でも刺激になりますから、今後は国内・海外のチームも含めてたくさんの方と接し、最新の情報に触れられる機会を楽しみにしています。また、待遇面では1分単位で残業代がでることも大きな魅力です。





Q.今後の目標を教えてください。

A. 近年、AWSはさまざまな場所で使われているので、まずはその知識を深めていくことが目標です。いずれは大規模プロジェクト、とくに前職に関わってきたような、官公庁向けのシステム開発にDTaktでも関わりたいですね。もちろん、大規模プロジェクトでは高い技術が求められますが、私自身のスキルを磨いて、チームのメンバーと一緒に協力すれば、必ず成し遂げられると信じています。ゆくゆくはDTakt、そしてデロイト トーマツ グループのなかでも最先端技術を扱うプロフェッショナルとして、頼りにされる人材になりたいですね。

Q.この業界を目指す方へメッセージをお願いします。

A. 多少なりとも開発を楽しめる人、常にチャレンジ精神を忘れずに、困難を乗り越えられる人であればやりがいを持って働ける場所だと思います。学生時代に専門的な勉強をしていなかったとしても、デロイト トーマツ グループは人材を育てるという意識が強く、そのためのサポートも充実していますから、入社後もスキルアップできる環境が存分に用意されています。私自身、これまでAWSの保守運用業務は携わったことはありませんでしたが、メンバーに教えてもらいながら、これまで培われた考え方やスキルを活かして取り組むことができます。働く場所にとらわれずに、自分を成長させたい、大きなプロジェクトに挑戦してみたいと考えている人には最高の職場だと思います。

学び続けることを忘れずに、 SAPのスペシャリストになりたい

デロイト トーマツ アクト株式会社
デロイト コラボレーションハブ デリバリーアナリスト
R.S. (2021年4月 入社)
ERP/DCH/新卒入社

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。



Q.デロイト トーマツ アクト (DTakt) での仕事内容について教えてください。

A. SAP事業部で保守運用を担当しており、現在は障害対応や、お客様から上がってきた要望への対応が主な業務になっています。具体的にはSAP社のシステムを使用している国内企業のお客様からのさまざまなリクエストをUSのデロイトのメンバーに伝えて、コード改修などを行っています。USのメンバーとのやり取りは英語で行っていますが、SAPは専門的な知識が必要ですから、日々、分からない点や課題と向き合いながら業務にあたっています。現在はコロナ禍ということもあり在宅勤務が主で、ふだんは朝の9時にPCを立ち上げて、朝のミーティングに参加し、18時までが勤務時間になっています。在宅のため業務中は一人ですが、いつでもオンラインで相談できる環境がありますし、同期入社のメンバーともコミュニケーションがとれているので、不安や孤独感を感じることなく仕事ができています。

Q.DTaktを選んだ理由を教えてください。

A. 大学の専攻は国際農業開発で、途上国の情報通信事情などを調査していました。大学時代に1年間アメリカに留学していたこともあり、就職活動で重視したのは英語を使える環境でした。入社の決め手になったのは、面接でも高圧的な雰囲気が出なくて、風通しの良さを感じたこと。加えて、グローバルな展開をしているデロイト トーマツ グループであることや、業務内容にも興味を持ち、入社を決めました。また、就職活動中は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっていた時期でもあったので、リモートで働ける環境が整備されている点も大きかったですね。

Q.DTaktで働くことの魅力はどんなところですか？

A. DTaktにはどんな考えや意見、人材でも受けて入れてくれる風土があるように感じます。大前提として自分から積極的に聞きに行く姿勢が大切ですが、分からないことや疑問に思うことを質問すれば、役職や年齢、スキルなどが違って、分け隔てなく親身になって教えてくださる人ばかり。面談の機会も定期的に設けられているので、仕事の悩みを相談できますし、先輩社員からもサポートしてもらえます。また、社会人一年目の私にとっては入社後の研修が充実している点も良かったと思います。入社から5月の終わり頃まではグループ全体の研修があり、業務で使用するオフィスソフトの基本的な使い方や、ロジカルシンキングを学びます。その後、DTaktの研修では、SAPのプログラミング研修を受けました。いま私が担当しているのはSAPのなかの会計領域ということもあり、お客様のビジネスを経理という側面から俯瞰して、日々、新しい知識を身につけられるのが大きなモチベーションになっています。



Q.今後の目標を教えてください。

A. まずは任せられた業務を自分一人でこなせるようになることです。将来的には、いま携わっているSAPの知見をさらに深めて、先輩たちが担っているような開発フェーズにも挑戦していきたいですね。そのためにも、担当している領域の知識をしっかり吸収することが欠かせません。簿記などの勉強もしながら、さまざまな情報を継続的に自分のものにしていく姿勢が大切だと感じています。

Q.この業界を目指す方へメッセージをお願いします。

A. DTaktの業務内容から、プログラミングやシステムに関する知識が必須だと感じるかもしれませんが、新卒入社の場合は気にする必要はないと思います。それよりも大切なのは、コミュニケーション力。自分が理解できていないことは何か、相手はどこまで理解しているのか、メンバーやお客様とすり合わせることが大切です。言葉足らずになってしまうと連携ミスが生まれ、大きな障害になりかねません。チーム内、そしてお客様とのコミュニケーションが何より大切だと感じています。また、リモートでの働き方が当たり前になっているいまの状況では、自主性も求められます。臆せず相談したり、自分から動いてやり方を見つけられる、そんな積極的な気持ちを持った方と働けることを楽しみにしています。



お客様に驚かれるようなソリューションを提供できる存在に

デロイト トーマツ アクト株式会社
SAP事業部 デロイト コラボレーションハブ
デリバリーアナリスト
H.H.（2020年4月 入社）

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。



Q.デロイト トーマツ アクト（DTakt）での仕事内容について教えてください。

A. 主な業務はSAP社のシステムを通じてお客様の課題を解決することになります。たとえば現在、担当しているのは、お客様のSAPシステムをバージョンアップした際に今まで使っていたものがそのまま機能するかどうかをテストしています。もちろんお客様によって業務は異なり、SAPに付随したシステムを新たに作るプロジェクトなど、主にデロイト トーマツ コンサルティング（DTC）のメンバーとコミュニケーションをとりながら、お客様が会社を運営する上で必要なところをサポートしていきます。現在はほとんどが在宅勤務ですが、SAP事業部はお客様の営業時間に合わせるが多いため、私の場合は9時から18時が基本的な勤務時間になります。

Q.DTaktを選んだ理由を教えてください。

A.大学では文学部で表現文化を学び、ITやシステムについての知識はほとんどありませんでした。ただ、在学中に簡単なプログラミングを学ぶ授業を受けたことがきっかけとなって、「何かを作る」業界に携わりたいと思うようになり、就職先は建築関係やIT・システム関係を希望していました。就職活動でとくに重視していたのは「転勤が少ないこと」「勤務地が東京23区内」「服装が堅苦しくない」ことで、そうしたなかで出会ったのがDTaktでした。当時はデロイト トーマツ グループがどのような組織なのかよくわかっていませんでしたが、フランクに話してくださるなど面接の雰囲気がとても良かったことと、「システムや仕組みを作ることで、お客様の課題を解決していく」と言ってくださったことが印象に残り、入社を決めました。

Q.DTaktで働くことの魅力はどんなところですか？

A.私は入社2年目ですが、就職活動の際に感じた風通しの良い雰囲気や、説明されていた仕事内容にもギャップはなく、とても働きやすい環境です。もともと思い描いていた「何かを作ること」がしっかりとDTaktで実現できていますし、作ったものがお客様の手元に届き、感謝していただくとやりがいを感じます。一方で、新しいプロジェクトが始まるたびに、わからないことや学ぶことも多く、難しさも感じています。ただ、そうした悩みも毎日の進捗報告や2週間に1度の面談の機会などで相談することができますし、事業部のメンバーでプレゼンテーションを持ち回りする勉強会など、DTaktでは学べる機会もたくさん用意されています。私が入社した2020年4月はちょうどコロナ禍の真っ只中でもあり、リモートでは相談しづらいのではと不安もありましたが、プロジェクトごとに気にかけてくださる方がいて、すぐに不安も解消できました。また、同期入社のメンバーともオンラインで飲み会をするなど仲良くできているのも嬉しいですね。

Q.今後の目標を教えてください。

A.まずは取り組んでいる仕事に全力で向き合い、知識や技術を高めていくことが今の目標です。DTaktの仕事は奥が深く、実際に生きた知識は業務を通じて自分から学んだり、周りの方から教えていただくことが重要だと日々痛感しています。将来は技術力を自分の強みにして、お客様から「こんな解決方法があったのか」と驚いていただけるようなサービスを提供して、課題を解決できる存在になりたいですね。



Q.この業界を目指す方へメッセージをお願いします。

A. 私のようにITやシステムの知識がなくても、グループには専門的な知識を持ったプロフェッショナルがたくさんいますから、自分をスキルアップさせる機会にとっても恵まれている職場です。就職活動に関するネットの情報などでは、「リーダーシップが重要」といったアドバイスをよく目にしますが、とくにDTaktが担うような大きなプロジェクトでは、それ以上にチームワークが大切だと感じます。みんなでアイデアを持ち寄って最高の解決策を一緒に模索できるような人と一緒に働けることを楽しみにしています。

さまざまな経験を重ねて、 専門的なキャリアを形成できる場所

デロイト トーマツ アクト株式会社

SAP事業部 デロイト コラボレーションハブ デリバリーアナリスト

M.A.（2020年4月 入社）

ERP／DCH／新卒入社

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。



Q.デロイト トーマツ アクト（DTakt）での仕事内容について教えてください。

A.入社して2年目になりますが、これまでに3つのプロジェクトを経験しました。1つ目はSAP社のシステムを導入したお客様からの問い合わせに関するサポート。2つ目はSAPのシステムへ移行する段階でのテスト。現在、携わっている3つ目は、システムの企画構想のフェーズで、現在のシステムの構造や運用体制を見直し、どう変えるべきかを検討するプロジェクトです。そのなかで、見つかる課題に関して調べたり、資料をまとめたりする業務を担当しています。どのプロジェクトもDTaktのメンバーをはじめ、デロイト トーマツ コンサルティング（DTC）やお客様とのやりとりがあり、最初のプロジェクトでは海外のデロイトのメンバーと英語でやりとりする機会も

ありました。現在は在宅勤務が中心ですが、社内の方とは毎朝のミーティングや午後の進捗状況の共有、加えて2週間、1か月ごとに開かれる面談の機会など、頻繁にコミュニケーションを取りながら、業務を進めています。同期とはコロナ禍ということもあって頻度は多くありませんが、実際に会う時には仕事のこと以外にもいろんな話ができるのが嬉しいですね。

Q.DTaktを選んだ理由を教えてください。

A.大学ではスポーツ栄養学、大学院ではスポーツ経営学を専攻していましたが、就職先では新しい分野に挑戦したいと考えていました。なかでも専門的なスキルを身につけられるIT関係を中心に、就職活動を行っていました。重視していたのは、保守運用やプログラミング、コンサルティングなどさまざまなフェーズを経験して、IT分野で長いキャリアを形成できる環境があること。私は将来的にコンサルティングをやりたいと考えていたこともあり、そうしたキャリアを形成できそうだと感じたことが、DTaktを選ぶ決め手となりました。上層部の方もフランクに接してくれるなど、面接時の雰囲気も良く、働きやすそうだったこともDTaktを選んだ理由のひとつです。



Q.DTaktで働くことの魅力はどんなところですか？

A.入社後はグループ全体の研修に加えて、DTaktでの研修も用意されていますし、プロジェクトに参加したあとも、常に相談ができる方がチームに配置されているなどサポート体制がとても充実しています。私はITやプログラミングの知識がほとんどない状態で入社しましたが、学ぶ環境が整っているおかげでそれほど不安を感じることなく、仕事に慣れることができました。DTaktは専門的な知識を持っている方と一緒に仕事ができることもあって、プロジェクトを経験するごとに成長できていると感じています。働き方に関しては、現在は在宅勤務のため通勤時間もなく、自分の時間をしっかりもてています。休日に趣味のスケートボードやギターの練習をするのが楽しみです。

Q.今後の目標を教えてください。

A.まずはさまざまなフェーズを経験して、開発やプログラミングなどの基礎知識を一通り身につけることが目標です。長期的な目標としては、SAPのなかでもファイナンス領域に特化したスキルを磨いて、仕事を任せてもらえるような人材になりたいですね。英語は得意ではないのですが、以前のプロジェクトで海外メンバーとやりとりをする機会があり、とても刺激を受けたので、語学にも挑戦していきたいです。

Q.この業界を目指す方へメッセージをお願いします。

A.ITやプログラミングなどの基礎知識があると仕事への理解も早くなりますが、私だけでなく先輩社員のなかにも、異なる分野・業界から入社して、勉強を始めた方もいます。大事なのは、周りの人に質問できる力。私は学生時代に行っていた研究の経験から、遠慮せずに人に聞くことを心がけていて、それが仕事でも役に立っています。SAPを扱うには相当な量の知識が必要です。わからないことを自分で抱えてしまうのではなく、周りの人に協力してもらいながら、どんなことにも興味を持って探求していける方がこの仕事に向いていると思います。



大きく成長していくDTaktのフィールドで 自分の力を試したい

デロイト トーマツ アクト株式会社
SAP事業部 デロイト コラボレーションハブ
デリバリーアナリスト
Y.K. (2020年4月 入社)
ERP／DCH／新卒入社

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。



Q.デロイト トーマツ アクト（DTakt）での仕事内容について教えてください。

A. 私はSAP事業部のAMOセンターに所属しています。お客様へ導入したSAP社のシステムの不具合など、保守運用を中心に要望に基づいた要件定義から見積もり提出、開発テストまで行っています。この仕事の難しい点はお客様の要望や悩みを適切に聞き出すこと。当初はお客様へのヒアリングに基づいた指示を先輩からいただき、私が実行することでスムーズに進みましたが、徐々にお客様とのコミュニケーションを任されるようになってからは、課題を把握することの難しさと大切さを痛感しています。日々、自分自身の課題を認識でき、それに取り組むことで少しずつ成長も感じています。

Q.DTaktを選んだ理由を教えてください。

A. 大学から大学院を通じて電気電子情報工学を専攻し、脳情報工学を研究していました。BCIと呼ばれる研究で、簡単に言うと人の脳と機械をつなぐ技術です。もともとはエンジニアか研究者を目指していましたが、大学で学んだITの知識をいかしてITコンサルやSAPの分野で活躍したいと思うようになりました。

DTaktを選んだ理由は、インターンシップ中に知ったSAPに関わる仕事ができることと、面接時にDTaktは発展途上という話を聞き、これから成長していく企業で働きたいと感じたことでした。入社前はデロイト トーマツ グループは監査法人の印象を強く持っていましたが、実際に働いてみると想像以上に幅広い分野に関わっており、自分がやりたいことを実現できる会社だと感じています。加えて、グローバル展開されているお客様のビジネスに携われるのも魅力です。採用されているシステムを見ると会社がどのように運営されているかが感じられて面白いですね。



Q.DTaktで働くことの魅力はどんなところですか？

A. 最初にしたのは、研修制度がとても充実しているということでした。最初にグループ全体での研修があり、次にDTaktの研修を受けることになりますが、2つの研修を通じて、のんびりとした学生気分からビジネスパーソンとしてのマインドに切り換えることができたと思います。研修内容も実際のミーティングを聞いて議事録にまとめるなど、業務に直結しているため、基本的なビジネススキルを身につける場としてとても勉強になりました。

また、面接のときにも感じたことですが、社内の雰囲気がフランクで自分にとってもあっていると感じます。そうした風通しの良さはDTaktを含め、デロイト トーマツ グループ全体に通じているようで、どの先輩も気軽に相談できる雰囲気があり、とても働きやすい環境だと思います。

Q.今後の目標を教えてください。

A.当面の目標は、お客様とのやりとりを含め、一通りの業務を滞りなく進められるようになることです。最初に参加したプロジェクトでは、先輩と一緒にお客様のヒアリングをしましたが、何もわからなかったというのが正直なところ。もっと実力をつけて、お客様が何を求めているか、そのために何が必要で、私たちがどういったサポートをしなければいけないのかを理解して提案していきたい。今の保守運用の業務を通じて基本的な知識を身につけ、将来的には開発や導入といったプロジェクトにも参加して、より大きな仕事に関わってみたいですね。

Q.この業界を目指す方へメッセージをお願いします。

A. プログラミングやITに関する知識の面でDTaktへの挑戦をためらう人もいるかもしれませんが、入社後に学べる機会が充実しているので、不安を感じる必要はないと思います。実際、同期入社にもプログラミング経験者はほとんどいません。そうしたスキルよりも、コミュニケーションがしっかりとれて、周りの人にヘルプを出せる人がこの仕事には向いていると思います。もちろん自分の力で解決することも大事ですが、専門知識を持った方がたくさんいますから、積極的に人と関わっていく姿勢が大切だと思います。加えて、SAPに関しては英語での情報が数多く、語学力は業務にとっても役立つと思います。

